第１学年　生活科　学習指導案

（情報活用能力の育成）

日　時　令和３年11月11日（木）第５校時

対　象　第１学年４組３０名

指導者　主任教諭　山外　栄子

**１　単元名**　　きせつとなかよし　あき

**教材名**「あきを見つけにいこう」

**２　単元の目標**

・　秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さについて気付くことができる。

（知識及び技能）

・　秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けることや、それらを使って遊ぶ方法を考えたり遊びを楽しく工夫したりすることができる。

（思考力・判断力・表現力等）

・　秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができる。

（学びに向かう力、人間性等）

**３　単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 秋の自然の中で遊んだり自然を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びのおもしろさや不思議さに気付いている。 | 秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いや特徴を見付け、遊びや遊びに使うものを工夫し創っている。 | 秋の自然の中で遊んだり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。 |

**４　指導観**

（１）単元観

小学校学習導要領（平成２９年告示）生活科の内容

５）身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくようとする。

６）身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

を受けて設定した。

秋は、木の実や落ち葉など、児童たちにとって魅力的な自然物が多く見られる。春や夏に季節を感じる活動をした経験を踏まえて、豊かな秋の自然を体感させたい。「あき見つけ」では、自然の中で自由に自然物を手にし、秋の特徴や自然の面白さや不思議さを感じ取らせたい。

この単元を通して、自然物を使って遊ぶことの楽しさや、それらを取り入れて自分の生活を楽しくしようとする思いを育みたい。

（２）児童観

　　　生活科の学習においては、意欲をもって活動に取り組む児童が多い。１学期から一人一鉢アサガオを種から育て、毎日水やりなどの世話をし、成長する様子を観察してきた。そして10月には枯れてしまった後の蔓でリースを作り、今後飾り付けをするのを楽しみにしているところである。

この地域の住環境として高層住宅に住んでいる児童が多く、身近に植物と触れ合う機会があまりないと思われがちだが、周囲には自然の多い広い公園もあり、放課後を中心に遊んでいる児童も多い。

今回の学習では、身の回りに目を向け、自然の変化に気付き楽しみ、遊びを創り出していく力を付けていきたい。

情報活用能力においては、今まで一人一台ＴＰＣを用いドリル学習などを行っていて、起動や終了の操作はできるようになっている。また、写真を撮る活動もしていて、印刷などの操作もしている。ただ、操作には個人差が見られるので、今回の学習では、よりスムーズに機器の操作ができるようになり、撮った写真を取り出して画面に映すなど、活用していく力を身に付けさせたい。本授業ではＴＰＣの画像を資料として呼び出し、図書資料と同じように扱わせたい。自分で撮った夏や秋の画像を見比べ、秋の特徴に気付くための「資料としてのＩＣＴ活用力」を育成していきたい。

（３）教材観

児童が自ら季節の変化に気付いたり、身近な自然物に目を向けたりできるように、春や夏の時期に季節を生かした遊びや体験を十分にしておく。また、夏の頃に自然に親しみ自然を生かした遊びをしている様子の写真などを教室に掲示しておくことで、その体験を想起できるようにし、活動につなげていく。

単元に入る前に、教室にどんぐりや色付いた葉っぱ、植物の図鑑や絵本などを置いておき、児童に自然物への興味・関心をもたせるようにする。

１学年全体で「どんぐりまつり」を計画し、他クラスの友達と交流しながら、季節を取り入れた遊びや生活のよさについて考えられるようにする。

他の教科でもＴＰＣを使って写真を撮ったり、保存してある画像を呼び出したりして、自分の必要な情報を取捨選択できるような経験を積めるようにしておく。

**５　研究の視点**

**（１）情報活用能力の体系表例や情報活用能力の学習指導計画に基づいた段階的な指導の工夫**

1. **育成したい情報活用能力と手立て**

Ａ　知識及び技能

１①ｂ「電子ファイルの呼び出しや保存ができる」（１・２年生）

Ｂ　思考力、判断力、表現力等

１①ｂ「必要な情報を分析し、自分の言葉でまとめる」（１・２年生）

Ｃ　学びに向かう力・人間性等

１①ａ「情報に対し、自分の思いや考えをもつことができる」（１・２年生）

１①ｂ「情報に対する感想の相違点、類似点に気付くことができる」（１・２年生）

手立て①

児童がＴＰＣを使って自分で撮った画像を、ＴＰＣ上で表示するための手順を掲示しておく。

手立て②

常設用ＴＰＣで夏の様子の画像を映し、児童が自分の画像と並べて比較できるようにする。

1. **関連する情報活用能力**

A　知識及び技能

　　　１①ａ「コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作ができる」（１・２年生）

　　　２①ａ「身近なところから様々な情報を収集する方法を知る」（１・２年生）

**（２）協働的な学び、考えを深めさせる学習活動の工夫**

　・　各自が活動して、感じたり考えたり気付いたりしたことを友達と伝え合うことで、友達の考えや発見と比べ、自分と似ているところや違うところを見付けられるようにする。

　・　毎時間の活動を振り返り、表現することで、気付きを自分の中で明確にし、新たな気付きにつなげられるようにする。

**（３）自分の考えをもたせ、目的に応じた方法で表現させる工夫**

　・　具体的に考えられるように木の実やまちの様子などを提示して、気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現できるようにする。

・　集めた木の実や木の葉の名前や特徴などが調べられるように、すぐ手にとれる場所に図鑑などの図書資料を置き、児童自らの発見を促すようにする。

　・　おもちゃ作りでは、試行錯誤できる時間を十分に確保することで、気付きを促し、自分の考えをもたせられるようにする。

**（４）学びの成果を次の学習へとつなげる振り返り**

　　毎時間の活動を振り返り、感じたことや気付いたことをワークシートに記入する。これまで記入したワークシートや写真などを元に、これまでの学習の成果を確認できるようにし、次の学習へとつなげられるようにする。

**６　指導計画**（１４時間扱い）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 時間 | ○学習活動 | ◎指導上の留意点　◆評価  ★情報活用能力の育成に迫るための手立て |
| 一次 | １ | ○　生活の中で見付けた秋を発表する。  ○　秋の自然は、夏と比べて、どのように変わったか予想をする。  ○　みんなでしてみたい秋の活動を話し合う。 | ◎　児童が自然物に興味・関心をもつことができるように、教室やホールにどんぐりや色づいた葉、植物の図鑑や絵本などを置いておき、手に取れるような環境を作っておく。  ◎　木の実やまちの様子などを提示して、具体的に考えられるようにする。  ◆　季節の移り変わりによる生活の変化や自然の様子に気付いている。  （知）〔ワークシート（以下『ＷＳ』発言〕 |
| ２３ | ○　秋の自然を見付けに「あき見つけ」に行く。  ○　公園や校庭に出て、秋の様子を観察したり、春や夏に虫を見付けた場所で虫や虫のすみかを探したりする。  ○　秋の草花や樹木などを観察し、季節の変化に気付く。 | ◎　公園のルールやマナーを守って「あき見付け」を行えるように、電子黒板を使って紙芝居形式で事前指導をする。  ★　児童が見付けた秋の様子を、教師がＴＰＣを使って記録写真として残しておく。  ◆　夏から秋への自然の様子の変化に気付いている。  （知）〔ＷＳ〕  ◆　秋の変化を夏の様子と比べながら考えている。  （思）〔ＷＳ〕 |
| ４本時 | ○　ＴＰＣを活用し、夏の写真と秋の写真を比べて、季節の変化や秋の特徴について考える。  〇　秋の変化についてグループの友達と伝え合う。  〇　グループで伝え合ったことを、全体で共有する。  〇　「見付けたよ」カードに、自分の見付けた秋の様子や友達の気が付いたことをまとめる。 | ◎　１人１台のＴＰＣを活用し、秋の写真を手元で見られるようにする。  ★　画像の呼び出しの手順を掲示しておき、操作方法を児童が確認できるようにしておく。  ◎　ホールに夏の様子を写したＴＰＣを数台設置し、秋の様子と比べやすくする。  ◎　秋の特徴をつかみやすくするために、児童の発言を黒板に整理する。  ◆　秋の特徴やほかの季節との違いに気付いている。  （思）〔ＷＳ　発言〕 |
| 二次 | ５  ６ | 〇　自然物を使って、どんな遊びができるのかを考える。  〇　考えた遊びを試すために、実際に自然物を触ったり、動かしたりする。  〇　どのような遊びを考えたり試したりしたのかを、全体で共有する。  〇　どんな遊びをしたのかを全体で共有する。  〇　遊んでみた感想や、気が付いたことを話し合う。  〇　これからの活動計画を話し合う | ◎　教室に、拾い集めた自然物を飾っておいたり、児童が活動した様子の写真などを掲示したりするようにする。  ◎　ホールにある図書資料を自由に参照させ、遊びのアイディア作りに生かせるようにする。  ★　図書資料コーナーと同様に、ＴＰＣを活用し、自然物を使った遊びの動画を見られるようにしておく。  ◆　木の実や葉の特徴を生かして、楽しく遊ぼうとしている。  （主）〔ＷＳ　行動〕  ◎　前時の振り返りを活用し、どのような遊びをしたのか、気付いた点などを想起させる。  ◆　見付けた木の実や葉、楽しかった活動などについて友達と紹介しあったり伝え合ったりしている。  （思）〔ＷＳ　発言〕 |
| 三次 | ７ | 〇　「どんぐりりまつり」に向けて、自然物を使って、作りたいものを工夫しながら作る。 | ◎　何度も試しながらおもちゃ作りをすることができるように、事前に集めた木の実や葉を箱に入れてクラスの共有物にしておく。 |
| ８ | 〇　作ったもので友達と一緒に遊んだり、遊び方を工夫して楽しんだりする。 | ◎　活動の様子を記録写真や動画に残し、振り返りの指導に生かせるようにする。  ◆　おもちゃの動きを試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊んでいる。  （思）〔ＷＳ　観察〕 |
| ９ | ○　活動を振り返り、楽しかったことや気付いたことを絵や文などで表現する。 | ◎　工夫した点を絵や文で表現しやすいように、振り返りでは、児童の活動の様子の画像などを電子黒板で映し出す。 |
| 10  11 | ○　「どんぐりまつり」の計画を立てる。  ○　「どんぐりまつり」に必要なものを作ったり準備したりする。  ○　遊び方やルールをグループで話し合ったり、試しに遊んだりして遊びを工夫する。 | ◎　教室の中に「材料コーナー」を設け、児童が自由に材料を付け加えられるようにする。  ◆　みんなで楽しく遊ぶために遊びの工夫を伝え合い、楽しい遊びを創り出そうとしている。  （主）〔ＷＳ　発言〕 |
| 12  13 | ○　「どんぐりまつり」を友達と一緒に楽しむ。 | ◎　クラスを回る順番や時間を示し、まんべんなく交流できるようにする。  ◎　活動の様子を記録写真や動画に残し、振り返りの指導に生かせるようにする。  ◆　遊びのルールや約束を工夫すると楽しく遊べることや、友達のおもちゃには、自分のものと違う良さがあることに気付いている。  （思）〔ＷＳ　発言〕 |
| 14 | ○　これまで記入したワークシートや活動の写真などを見て活動を振り返り、感じたことや考えたことなどをカードに記入する。  ○　これまでの活動について、感じたことや考えたことを友達と伝え合う。  ○　季節を生かした遊びや生活について、感じたことや考えたこと、さらに取り組んでみたい活動などをワークシートに記入する。 | ◎　ＴＰＣを使って児童が自由に活動の写真などが見られるように、これまでの写真などを校内の共有フォルダに保存しておく。  ★　児童が自分でデータの呼び出しができるように、手順を掲示しておく。  ◆　自分たちの生活が身近な自然や季節の変化に関わっていることや、みんなで遊ぶ楽しさを実感し、毎日の生活を豊かに楽しくしようとしている。  （主）〔ＷＳ〕 |

**７　本時の学習（４／１４時間）**

（１）目標

身の回りの秋の自然を観察し、夏との違いや秋の自然の特徴に気付くことができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | ◎指導上の留意点  ★情報活用能力の育成に迫る手立て | ☆活用機器・資料  ◆評価〔評価方法〕 |
| つかむ | １　前時の活動を振り返る。 | ◎　前時の活動の話をして児童に思い出させる。 |  |
| 活動する | ２　本時の学習活動を確認する。  ３　夏の画像を見て、夏の校庭について思い出す。  ４　撮影した画像と夏のときのものとを比べて変わったところや、秋の様子の特徴を見付ける。  ５　見付けたことや気付いたことを友達と伝え合う。  ６　全体で発表する。 | あきを　見つけよう  ◎　夏の画像を黒板に掲示し、画像を撮った頃のことを想起させる。  ★　児童がＴＰＣを使って自分で撮った画像を、ＴＰＣ上で表示するための手順を掲示しておく。  ★　常設用ＴＰＣで夏の様子の画像を映し、児童が自分の画像と並べて比較できるようにする。  ◎　お互いの撮影した写真を見せ合いながら、気付いたことや感じたことを伝え合い、友達と考えを共有できるようにする。また、自分の考えと似ているところや違うところに着目させるようにする。  ◎　撮影した写真を全体に見せる。 | ☆「Active School」  ☆　夏に撮った画像  　（Ｂ４サイズ）  ☆　常設用ＴＰＣ  ☆　児童用ＴＰＣ  ☆　児童用ＴＰＣ  ☆「Active School」 |
| まとめる | ７　秋の様子で気付いたことや、友達の発表の感想をワークシートにまとめる。  ８　次時の学習内容を知る。 | ◎　自分で見付けたことだけでなく、友達の発表の中からも書いてよいことを伝える。 | ◆　秋の校庭の様子が変わっていることに気付いている。  （知）〔ワークシート　発表〕 |

**８　使用する機器やアプリ一覧**

|  |  |
| --- | --- |
| 名前 | 内容等 |
| 電子黒板 | ・教師用ＴＰＣにある夏の様子の画像を提示する。  ・「Active School」を使用し、児童用ＴＰＣの画面を映す。 |
| タブレットＰＣ（ＴＰＣ） | ・常設用ＰＣ…夏の様子の画像を映す。  ・カメラを使って、秋の様子を撮影したり、撮影した画像を見たりする。 |
| アプリ「カメラ」 | ・秋の様子を撮影する。 |
| アプリ「Active School」 | ・画面共有目的として使用する。 |